



伊丹市マスコット たみまる

2022(令和4)年1月1日 第1461号 毎月1・15日発行

広報

伊丹



この号の主な内容

- 2面 市役所業務は4日から
- 3面 職員を募集
- 4面 新春お年玉企画
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●197,530(-540) 世帯数●82,900(-406)
 2021年12月1日推計 ()は前年12月1日比
 発行・伊丹市広報課



〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1

☎072-783-1234(代表)

ファクス072-784-8107(広報課)

ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp>



伊丹酒蔵通りを走る公用電気自動車

Happy New Year

人とまちが輝く未来へ



伊丹市長 藤原保幸

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、お健やかに初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年も前年に引き続き、コロナ禍の1年でした。しかし延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、無観客ではありましたが開催され、本市ゆかりの選手を含めアスリートの皆さまが活躍し、私たちに多くの感動を与えてくれました。

新型コロナウイルス感染拡大は市民の皆さまのご協力により、昨年の感染ピーク時と比べ随分と落ち着きました。世界ではオミクロン株による感染や感染再拡大の動きもみられます。日本では3回目のワクチン接種が急がれており、準備ができ次第、市民の皆さまへの接種を順次スタートさせます。

また、コロナ禍の長期化が地域経済や市民生活に大きな負の影響を及ぼしています。国・県とも連携し、各種給付金の支給や地域経済の活性化

化などに取り組んでいきます。これから未来に向け、世界中で社会のデジタル化、グリーン化が進んでいきます。

コロナ禍対応の反省も踏まえ、遅れていた日本のデジタル化は急速に進んでおり、本市においても住民票などのオンライン申請や、「待たせない」「書かせない」をコンセプトにしたスマート窓口の設置などを進め、学校ではICT教育のさらなる充実に取り組みなどデジタル化を推進していきます。

また、地球温暖化防止のための2050年カーボンニュートラルに向けた取り組みが加速しています。本市においても、11月にオープンする市役所新庁舎や2025年の開院を目指す統合新病院での省エネ・創エネの取り組み、公用車の電気自動車化、太陽光発電設備の共同購入促進など、市民の皆さまとともに積極的にグリーン化を推進していきます。

本年が皆さまにとって、希望に満ちた幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。